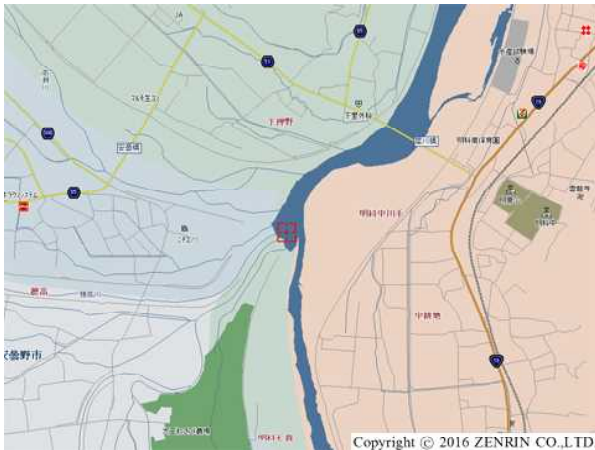


・犀川－御宝田（117）・・安曇野市

36・20・47N

137・54・50E



1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ			5			1
コハクチョウ	344	234	470	484	295	365
類合計	344	234	475	484	295	366

2. 選定地の状況

犀川ダム湖から、下流に 5km に御宝田池（人工池）に 20 年以上 200 ～ 250 羽が飛来している。安曇野市明科地区の地元御宝田白鳥の会が保護活動をしています。給餌は、不定時です。

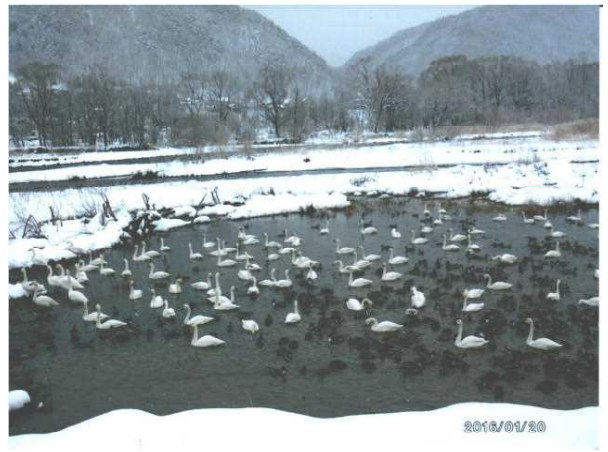
この他、安曇野市より南へ 50 km に諏訪湖があり、岡谷市に 1974 年（昭和 49 年）より給餌保護活動をしています。また、長野県の白鳥の記録は、1945 年（昭和 20 年）頃、北部の野尻湖にツル 8 羽と記録に残る。（当時、首の長い鳥は全てツルと記録されている）このツルは白鳥（オオハクチョウ）8 羽だったと記録に残る。その後、大町市の仁科三湖の木崎湖に飛来。その後、諏訪湖、そして安曇野市犀川水流へ。現在、野尻湖、木崎湖は白鳥の飛来は確認されていない。

（選定協力員 会田 仁）
協力・写真提供：山本和治

・犀川－徳治郎（116）・・安曇野市

36・19・8N

13・55・28E



1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	2		1			1
コハクチョウ	356	233	526	467	252	367
類合計	358	233	527	467	252	367

2. 選定地の状況

安曇野市（旧豊科町）に白鳥が初めて飛来し越冬が確認されたのは、1984年（昭和59年12月）からです。その後、毎年千羽前後の飛来を確認している。2005年（平成17年）には、2398羽を確認した。安曇野市は、長野県の北西部に位置し、日本列島の兆部の内陸部に位置しています。そして、上流には、北アルプスから流れ出る清流梓川、そして清流奈良井川が合流し、犀川となり下流長野市にて千曲川と合流し信濃川となり新潟県を通過し日本海へと流れ込む。この犀川に中部電力の小さな犀川ダム湖がある。

一日2回の給餌は80～100kgの屑米や麦、キャベツ、野沢菜などを地元アルプス白鳥の会が30年以上の保護活動をしている。

（選定協力員 会田 仁）
協力・写真提供：山本和治

